

日野川今昔

故きを温ねて

## 出雲街道をゆく



## 出雲街道をゆく

最終回

## ● 舟場の渡し ●

**溝**口から日野川を渡り二部に泊まった参勤交代の行列は、間地峠を越え今の日野町舟場に着く。舟場の渡し場は舟場川の河口から50メートル程日野川の上流にあたる地点で、そこに舟小屋と渡し場があった。

渡し場附近の川幅は20間(約36メートル)深さ4尺(約1.2メートル)渡しは両岸にはった綱を手繰って渡る綱越しであった。



**渡**し場の一町(約36メートル)ほど上に5尺5寸(約76センチメートル)の深さのところがあり歩いて渡ることができた。

川渡しの人夫が必要なときは、助郷と呼ぶ、使役で周辺の農民が動員された。

対岸の根雨船着場は、舟場の真向かいにあった。そこで舟から上がれば根雨宿の北端、二軒茶屋から根雨宿の町中に入った。かつてあった一里松等の痕跡はない。国道、JR伯備線を造成した盛り土の下に埋もれていると思われる。

(監修：米子市立山陰歴史館)

